

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年3月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年3月1日～3月31日）

○調査期間：令和2年3月27日～令和2年4月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業21企業、卸売業11企業、小売業26企業

飲食業14企業、サービス業43企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計135企業>

○調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲23.3）よりマイナス幅が13.0ポイント拡大し、▲36.3となった。業種別では、製造業はマイナス幅が縮小した。飲食業、小売業、サービス業、卸売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

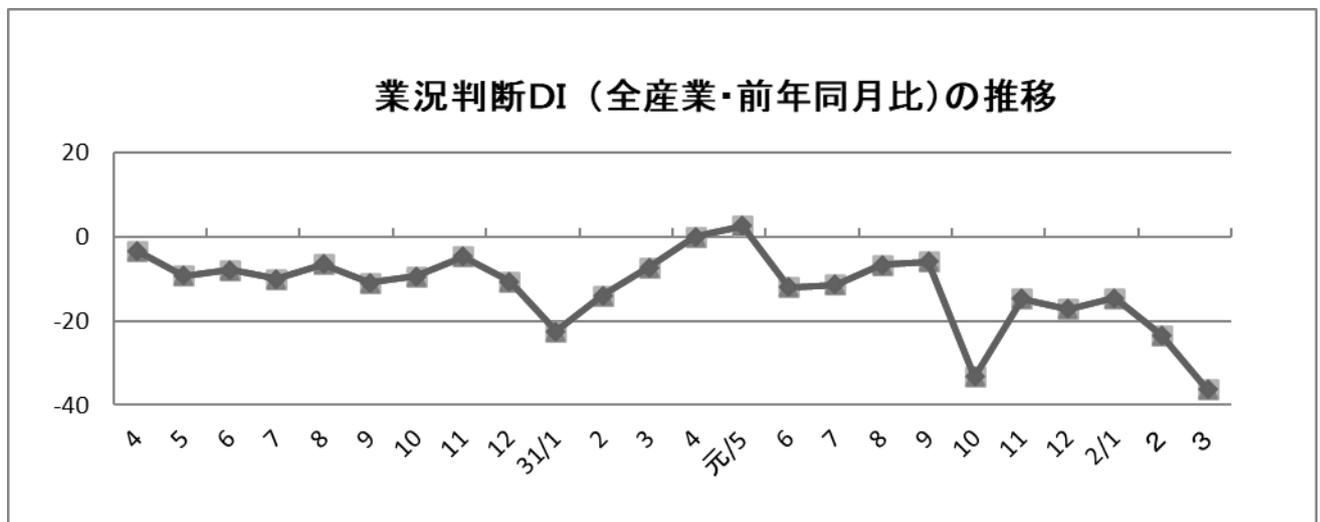
○全産業合計の水準DIは、前月（▲27.3）よりマイナス幅が14.9ポイント拡大し、▲42.2となった。業種別では、製造業はマイナス幅が縮小した。飲食業、小売業、卸売業、サービス業、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	10.4 (10.0)	42.9 (56.7)	46.7 (33.3)	▲ 36.3 ↘ (▲ 23.3)	6.7 (8.0)	44.4 (56.7)	48.9 (35.3)	▲ 42.2 ↘ (▲ 27.3)
建設業	5.0 (4.2)	80.0 (83.3)	15.0 (12.5)	▲ 10.0 ↘ (▲ 8.3)	5.0 (12.5)	80.0 (75.0)	15.0 (12.5)	▲ 10.0 ↘ (0.0)
製造業	19.0 (4.5)	42.9 (50.0)	38.1 (45.5)	▲ 19.1 ↗ (▲ 41.0)	14.3 (4.5)	47.6 (59.1)	38.1 (36.4)	▲ 23.8 ↗ (▲ 31.9)
卸売業	0.0 (0.0)	36.4 (50.0)	63.6 (50.0)	▲ 63.6 ↘ (▲ 50.0)	0.0 (0.0)	18.2 (35.7)	81.8 (64.3)	▲ 81.8 ↘ (▲ 64.3)
小売業	11.5 (17.9)	27.0 (39.2)	61.5 (42.9)	▲ 50.0 ↘ (▲ 25.0)	7.7 (14.3)	30.8 (35.7)	61.5 (50.0)	▲ 53.8 ↘ (▲ 35.7)
飲食業	0.0 (5.9)	7.1 (41.2)	92.9 (52.9)	▲ 92.9 ↘ (▲ 47.0)	0.0 (5.9)	7.1 (41.2)	92.9 (52.9)	▲ 92.9 ↘ (▲ 47.0)
サービス業	14.0 (15.6)	48.8 (64.4)	37.2 (20.0)	▲ 23.2 ↘ (▲ 4.4)	7.0 (6.7)	53.5 (71.1)	39.5 (22.2)	▲ 32.5 ↘ (▲ 15.5)

（ ）内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

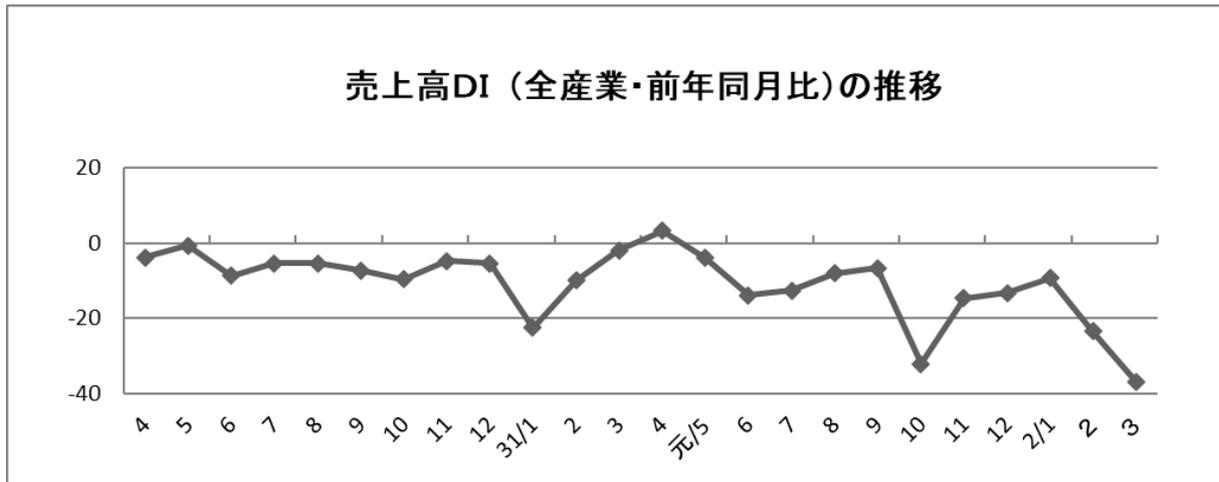


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲23.4）から13.6ポイント拡大して▲37.0となった。業種別に見ると、製造業、建設業はマイナス幅が縮小し、卸売業、飲食業、小売業、サービス業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
全 体	▲ 1.9	3.3	▲ 4.0	▲ 13.9	▲ 12.6	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 32.0	▲ 14.6	▲ 13.3	▲ 9.3	▲ 23.4	▲ 37.0
建 設 業	8.4	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0
製 造 業	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1
卸 売 業	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8
小 売 業	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1
飲 食 業	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9
サービス業	6.6	10.8	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5

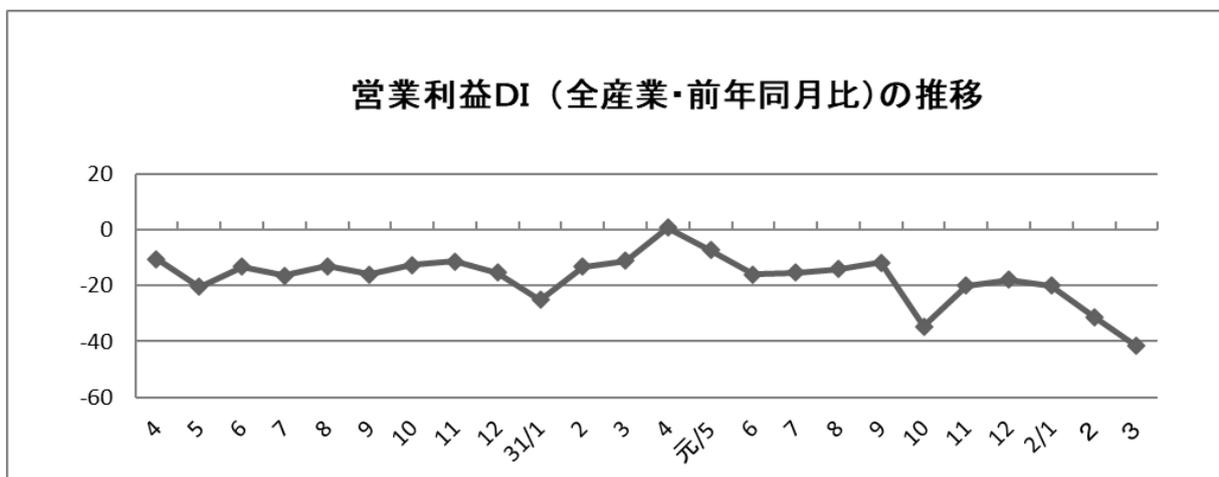


3. 営業利益D I（前年同月比）

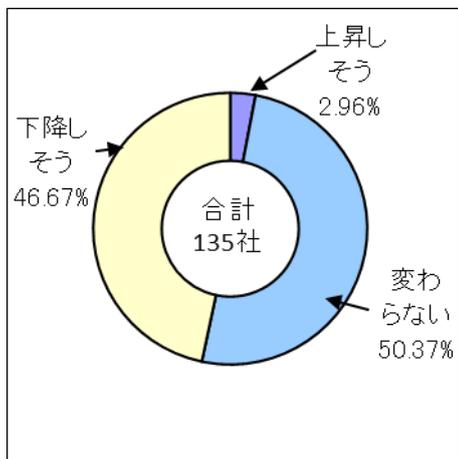
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲31.3）より10.2ポイント拡大して、▲41.5となった。業種別に見ると、製造業はマイナス幅が縮小した。飲食業、サービス業、卸売業、小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
全 体	▲ 11.2	0.7	▲ 7.4	▲ 15.9	▲ 15.4	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 34.7	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 41.5
建 設 業	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0
製 造 業	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1
卸 売 業	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5
小 売 業	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2
飲 食 業	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7
サービス業	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9

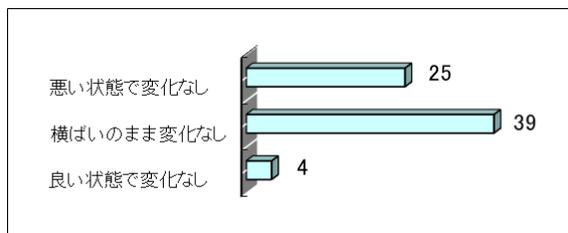


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和2年4月～令和2年6月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.96ポイント増加し2.96%、「下降しそう」が8.67ポイント増加し46.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲5.0)、製造業(▲38.1)、卸売業(▲45.5)、小売業(▲61.6)、飲食業(▲71.4)、サービス業(▲44.2)であった。

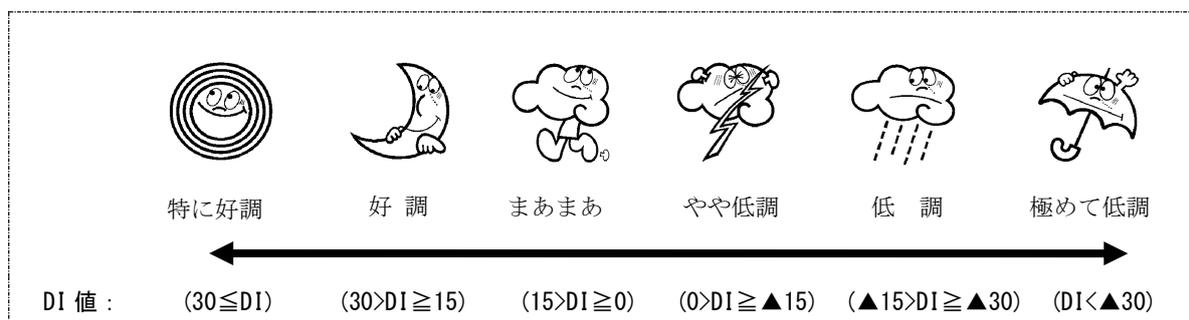
➡「上昇しそう」では「顧客のゼネコンが所有している繰越工事が比較的多いため」「新年度公共事業が発注されるため」(建設業)、「季節的要因によるため」(製造業)、「新型コロナウイルス感染症が落ち着けばよくなりそうのため」(小売業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では「景気悪化のため」「毎年4～9月の公共工事の発注は通年の50%以下になるため」「物件数の減少のため」「新型コロナウイルス感染症の影響で資材の入荷が遅延しているため」「新型コロナウイルス感染症の影響で打ち合わせ中止など現場が減っているため」「新型コロナウイルス感染症の影響で先行きが不透明なため」(建設業)「お菓子の需要が下がりつつあるため」「新型コロナウイルス感染症による受注減のため(同意見2件)」「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見7件)」(製造業)「耐久消費財への投資が低迷しそうなため」「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見3件)」(卸売業)「貸家の繁忙期の終了のため」「販売量が減少しているため」「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見11件)」(小売業)「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見8件)」(飲食業)「現在大きな案件を進めていないため」「景気後退のため」「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見15件)」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
売上高	8.4	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0
受注量	▲ 16.7	▲ 8.7	▲ 8.7	0.0	▲ 12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 16.7	▲ 25.0
受注単価	0.0	0.0	▲ 4.3	▲ 8.7	0.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 8.3	▲ 5.0
営業利益	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0
見通し	▲ 4.1	13.1	13.0	4.3	8.4	▲ 4.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 8.0	4.2	▲ 12.5	▲ 5.0

<経営者の目・見方・etc>

- 総合建設
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で、特に建築資材の調達が難しくなっている。
- 建設業
 - ・昨年に引き続き暖冬であったため、除雪作業が少なかった。このような年が続くと除雪機械の経費等が確保できず、除雪体制の維持が難しくなる。
- 建築工事
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大が世界規模で起きており、経験したことのない状況に、業界を問わず全てにおいて経済活動の先行きが不安である。
- 電気工事
 - ・全般的に見て、3月は官庁年度末にて当然竣工ということで売り上げは膨らむ。入金も4月5月にはある。ただし新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか終息の兆しがないので今後の受注状況、銀行との取り合いが気になるところである。
- 管工事
 - ・全体的には売り上げはあったが利益率が上がらない。工事単価が上がらないのが現状である。住宅産業の受注方法に問題があるかもしれない。
- 鉄工
 - ・首都圏では秋以降の工事で、中止または延期となるものが出てきている。
 - ・緊急事態宣言により、材料入荷、製品出荷等の物流が心配である。
 - ・コロナの影響で関東物件の現場がストップする可能性があり不安である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
売上高	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1
受注量	0.0	8.7	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3
受注単価	▲ 10.0	0.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7
営業利益	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1
見通し	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 14.3	0.0	▲ 9.5	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 27.3	▲ 4.5	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1

<経営者の目・見方・e c>

印刷

- ・県中小企業団体中央会の労働実態アンケートが届いた。この資料の把握をし続けて以来、毎年印刷関連業界は業界別で「良い」が最も少ない業界となり続けている。新型コロナウイルス感染症の関連不況により、一層厳しく、また、デフレの深刻な進行が懸念される。直近の仕事でも悪質な安値攻勢がみられる。
- ・古紙の業界紙などによると古紙のダブつきが発生し、回収業者が収益性確保のために一斉に値上げを始めている。
- ・年度末という通常の繁忙期と重なったため、現時点でのコロナウイルス関連の影響は限定的だったが、すでに制作部門での仕事は減少しつつあり、今後一層の厳しい影響が予想される。一方で、別の影響も発生している。納期を強要する依頼も減少しつつあり、コロナウイルス関連の影響に配慮する「思いやり経済活動」へと一部で少しずつシフトしているのかもしれない。
- ・新型コロナウイルス感染症の売り上げへの影響は5月から出てくる。4月になってからの見積もり件数が激減している。

酒類

- ・外出自粛のため、観光客が来なくなった。インバウンドはバス30台のキャンセルが発生している。日本人も出歩かない。外食も激減のため、清酒の出荷は20%減となっている。家庭で飲む分をいかに取り込むかを考えなくてはならない。新型コロナウイルス感染症の終息が1年先か、2年先か、先行きが見えないので、対策の打ちようがない。

菓子

- ・3月は2月に続き、菓ごもり消費の拡大で賞味期限の長い菓子類の販売は前年よりも多くなった。今後は新型コロナウイルス感染症による消費者の所得減少によって、生活必需品や基本的な食糧への消費シフトがおこり菓子類の販売が減少すると予想している。

金属塗装

- ・新型コロナウイルス感染症がいつまで、どこまで広がるのか心配である。

豆腐

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が出ている。

小型情報機器組立

・新型コロナウイルス感染症対策で大変ですが、業種により良否が分かれています。中規模の解雇が始まってきているのでこの先どうなるのかが気になる。

紙器

・工業製品部品の遅れにより組立のできない状況になり、梱包材料にもストップがかけられている。メーカーサイドにもよるが、落ち着くのに2~3カ月かかるのではないかとされる。そのほか製品全てが自粛により売上が減少している。

漬物・味噌

・味噌を仕込まない味噌蔵が多い。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
売上高	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8
販売客数	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5
販売客単価	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5
営業利益	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5
見通し	0.0	0.0	0.0	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5

<経営者の目・見方・e t c >

土産品

・取引先施設の臨時休業もあり、県外との取引が大幅に落ち込み、対応策も見つからない状況である。海外工場からの入荷は3月後半には回復してきたが、納品先が休業しているため、売り上げにならない。

魚介類

・得意先の宿泊施設、飲食店への売上が激減している。終息時期が見えず、経営判断がポイントとなると思う。

青果

・新型コロナウイルス感染症の影響により給食・外食業務に落ち込みあり。その反面、量販店への客の入りは良い。

医薬品

・薬価改定に伴う仕入(得意先)修正が出てきている。
・新型コロナウイルス感染症対策による受診抑制で薬剤処方が減少している。

金属製品

・新型コロナウイルスの影響により、先行きは不透明である。相場も下げ傾向であり、建設案件は工期延長や中止物件の話が出始めている。車関連の発注量は5割、6割減の状態であり、業界全体に不安の話しか聞こえてこない。

機械工具

・新型コロナウイルス感染症の影響が出始めている。前年同月があまりにもよかったため、この3月はすごく悪く感じる。

4. 小売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
極めて低調	極めて低調	低調	極めて低調	極めて低調
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
売上高	▲12.9	▲3.6	▲14.3	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4	▲25.0	▲46.1
販売客数	▲12.9	3.6	▲3.6	▲31.1	▲35.5	0.0	0.0	▲42.9	▲25.0	▲13.3	▲6.7	▲35.7	▲61.5
販売客単価	▲16.1	▲7.2	▲7.2	▲20.7	▲6.5	3.4	3.3	▲35.8	▲15.6	10.0	▲16.7	3.6	▲26.9
営業利益	▲25.8	▲14.2	▲10.7	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7	▲35.7	▲46.2
見通し	6.4	3.5	▲10.7	▲17.3	▲16.1	0.0	▲26.6	▲10.7	▲9.4	▲3.3	▲26.6	▲53.6	▲61.6

<経営者の目・見方・etc>

印章	・観光客の減少を直接被ることはなかったが、今後は様々な角度から影響が出てくると思われる。
生鮮食品	・新型コロナウイルス感染症の影響がいつまでも長引き先が見えない。外へ出ず、家にいて、栄養のあるものを皆で食べ、体力をつけるほかない。
洋菓子	・同業他社の話でも新型コロナウイルス感染症の影響は少ないと聞いているが、今後はどうなるかわからない。従業員の家族含めて、皆まだ健康だが、これだけ毎日感染者数が増えると、仮にもし従業員や、その家族の感染が判明した時の対策も考えねばと感じる。営業含めて、全てがまだどうなるかわからない状況なので、業務としてできる事、従業員の健康管理も含め、臨機応変に対応したいと思う。
和菓子	・行事、イベント中止のため売り上げがかなり悪化している。個人のお客様はまあまあ来店されている。
パン	・業種によって新型コロナウイルス感染症の影響があったように思う。パン小売は”巣ごもり”景気で影響が少なく助かったが、4月以降の不透明感是不安しかない。
味噌・しょうゆ	・新型コロナウイルス感染症の影響が心配。
婦人服	・ポイント倍キャンペーンを実施していますが、お客様が新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えていらっしゃるのので日々静かです。そんな中、長野の状況を見に行き、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、店内ディスプレイ等業務を通常通り行って勉強になりました。商品整理やスタッフのお客様をお迎えする姿勢等引き締めていかねばと思います。
ショッピングセンター	・3月4日(水)～15日(日)間、営業時間を2時間短縮した影響があり、集客と売上がダウンした。
住宅機器	・トイレの部品が中国で滞っているため、発注してから取り付けまで2ヶ月かかっている。
陶磁器	・このような状況ではあるが、新規開業の物件があり、売り上げは立った。年度末で例年であれば定期的な補充が期待できるのだが、不要不急の発注も減少している。かつてない不況、恐慌が当分続くとなると、あらゆる手段を動員して手持ち資金を厚くしないと大変なことになりかねないと考えている。
ギフト商品・カレンダー・うちわ	・新型コロナウイルス感染症の影響で継続的に影響が出ると予想する。
燃料	・新型コロナウイルス感染症や原油価格の動きの影響が出てくる。

5. 飲食業



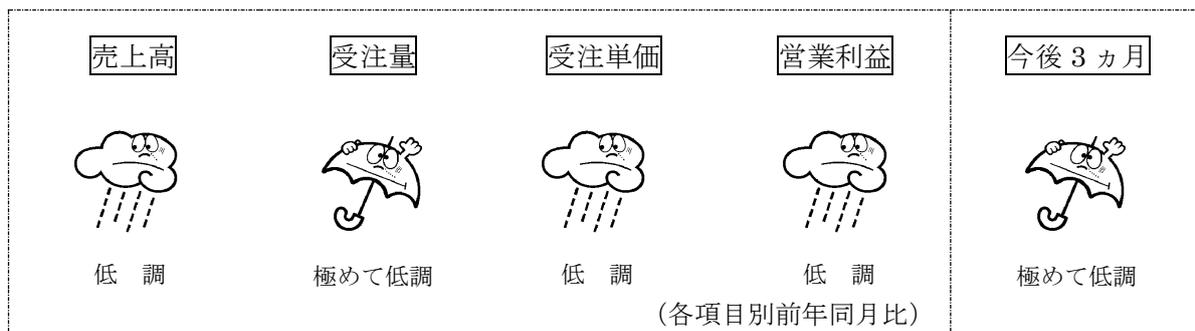
【項目別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
売上高	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9
販売客数	▲ 16.7	11.1	5.5	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 70.6	▲ 43.8	▲ 13.4	▲ 25.0	▲ 47.0	▲ 92.9
販売客単価	▲ 27.7	0.0	▲ 5.5	▲ 23.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 57.1
営業利益	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7
見通し	▲ 11.1	0.0	▲ 5.5	11.7	0.0	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	▲ 47.1	▲ 71.4

<経営者の目・見方・etc>

料理	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に入り、新型コロナウイルス感染症による影響が顕在化し、宴席のキャンセル、来店客の急激な減少により、かつてない営業状況となっている。
郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が明確に出てきて、地元客、常連客ばかりになってきた。大人数の宴会もなく、会合の取り消しも出始めた。
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による経営不振で今後の対策が見えない。
食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は日増しに強くなり、先が見えないので大変不安な状況である。 ・2月から3月に90店舗が参加し行われたカーリラーは、この時期にはそれなりの効果があったと思う。
寿司	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から晩まで新型コロナウイルス感染症のニュース、話でもちきりである。いろいろな業種が大打撃を受けているが、飲食業も悲惨な状態で先行きが非常に心配だ。長期戦になることを覚悟で対策を立て、まずは一人一人が新型コロナウイルス感染症にかからないように気を付けることが必要だと思う。
そば	<ul style="list-style-type: none"> ・壊滅的な現状。1日も早い終息や、平穏な日々が来ることを切に願いたい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。
中華料理	<ul style="list-style-type: none"> ・街に人がいない。
ラーメン	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の夜の人出がない。この状況が続くと店の維持ができなくなる。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	31年3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
売上高	6.6	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9	▲25.5
販売客数	4.4	4.3	0.0	4.3	▲8.3	2.0	▲14.9	▲40.4	0.0	▲10.9	▲10.9	▲8.9	▲32.5
販売客単価	6.7	▲4.4	2.1	2.1	▲6.2	6.0	▲6.3	▲25.5	2.3	▲2.2	4.3	▲2.2	▲16.2
営業利益	4.4	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9	▲27.9
見通し	8.9	4.3	8.4	6.4	▲2.1	▲12.0	▲14.8	▲2.1	▲7.0	▲10.8	▲4.4	▲40.0	▲44.2

<経営者の目・見方・e t c>

自動車整備、
板金塗装

機械設計

ソフトウェア

システムサポート

旅館

温泉旅館

ホテル

リラクゼーション

- ・新型コロナウイルス感染症の影響、先行きの見えないのが一番不安である。もし当社に一人でも感染者が出たら、当社もすぐ破産してしまうだろう。何を対策していいかわからないのが現状である。いつ終息するか読めないのが不安を募らせる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が出てきている。自分のできる事、会社のできる事をやっていくしかない。早期終息を願う。皆の決意だと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、進めていた案件が中断さえるなどの影響はあるが、どちらかというテレワークのインフラ作りや物流・食品関係の動きが大きい。また、セキュリティのためと言いながら常駐を強いる大型案件、丸投げ構造は、保健衛生的に最悪。これを機に淘汰されることを願いたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息が見通せず、長期化するようであれば大きな打撃となる。
- ・4月の予約状況は非常に悪く、昨年実績の40%程度。5月は今後の感染症の蔓延により、取り消しが多くなる見込み。
- ・新型コロナウイルス感染症によるキャンセルが多い。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で相当な経済打撃がこれからも引き続きあります。県や市の経済対策が可及的速やかに必要とされると思われまます。いつまで続くか不明なので、この先倒産するお店がかなり出るのではないかと心配しています。ウイルスの感染よりも、経済打撃への深刻さの認識が低すぎると思います。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により4月、5月の予約がすべてキャンセルになった。今後の予約もゼロ。商工会議所としても前向きな援助をお願いしたい。
- ・宿泊、宴会、会議、レストラン全て壊滅的な数字。新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか非常に心配である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で客数減、売り上げ減である。

タクシー	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、出張や外出の控えにより客数は減少し、待ち時間が長くなっている。これからますます悪化しそうで心配である。
理容	・予測を遥かに超えた事態に為す術がない。まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、今後GW過ぎまで予測不能な事態は続くと思うが、今は耐えるしかない。
獣医	・松本保健所管内で11番目の新型コロナウイルス感染症患者が動物看護師だった。動物病院は約2週間臨時休業となったが、明日は我が身…予防対応に最善を尽くしたい。2、3月の実績は前年比では良かったが、4月以降は非常に不安である。
倉庫	・物の動きが減っているが、いつまでこの状況が続くか分からない。また、自社内で新型コロナウイルス感染症の感染者が出た場合の対応を現在社内で検討している状況である。
建築設計、工事監理	・年始めはいつも低調ですが、今年は特に新型コロナウイルス感染症騒動で心配しています。
ビル・住宅総合メンテナンス	・新型コロナウイルス感染症で全てがトーンダウンしてしまった。いつ終わるのか先が見えないだけに経営者にとっては大変きついものがある。それでも起きていることを前向きにとらえ、先を見てピンチをチャンスに変えるカードを見つけて、今この時を踏ん張りたいと思う。
測量・建設コンサルタント業	・業績への新型コロナウイルス感染症の影響は今のところはないが、2月中に注文した機器の部品がなく製造できないとの事で納品されない。機器や材料を早めに発注しないと業務に支障が出る。
不動産代理・仲介	・不動産売買契約が成約された。
不動産賃貸	・変動はなかった。
ホームクリーニング・リネンサプライ	・新型コロナウイルス感染症による宿泊減、宴会の自粛により、売り上げが減少し、資金繰りが苦しい。
介護サービス	・新型コロナウイルス感染症は大問題。介護業界は戦々恐々している。もし罹患者が生じたら経営の危機である。
写真・ビデオ警備保障	・結婚式の延期が相次いでいる。3月、4月はほとんど延期で仕事がない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響は直接的にないが、契約先の状況により間接的な影響が懸念される。